山梨県 公立高入試 社会 セット10 前半

名前

出席番号　　必要な人は書く

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。
問1〜6（全12問の前半）

問1　沿岸から200海里（約370km）までの範囲に設定される「排他的経済水域」について、沿岸国に認められている権利の内容として正しいものはどれですか。

- ○ 公海と同様に、どの国の船舶であっても自由に軍事演習などを行える権利
- ○ 領海と同様に、その水域の上空を自国の領空として支配する権利
- ○ 他国の船舶の航行をすべて禁止し、自国の法律のみを適用する権利
- ○ 魚介類などの水産資源や、海底の鉱物資源を独占的に利用する権利

問2　発展途上国の都市部において、急激な人口集中によって生じる居住環境の課題について述べた文として、正しいものはどれですか。

- ○ 都市化が進む一方で、伝統的な生活様式を維持するために、すべての住民が定住を拒否して移動式テントで生活している。
- ○ 急速な工業化によって都市の労働力が不足したため、伝統的な住居を解体して高層住宅に建て替えることが法律で禁じられている。
- ○ 都市への人口集中を解消するため、政府が遊牧などの伝統的な移動生活に戻るよう国民に義務付けている。
- ○ 十分な所得や住居を確保できない人々が、都市周辺にスラムと呼ばれる生活環境の劣悪な地域を形成することがある。

問3　現代社会において、物事を決める際に「手続きの公正さ」が重視される理由として、最も適切な説明はどれですか。

- ○ 時間をかけずに素早く物事を決定することで、社会的な無駄を省くことができるから
- ○ 最終的に全員が全く同じ利益を得られるように結果を調整することが可能になるから
- ○ 決定の過程に参加することで、自分の意見が反映される機会が保障され、納得感が高まるから
- ○ 専門的な知識を持つ特定の人々だけで判断したほうが、客観的に正しい結論が出るから

問4　広大な国土を持つブラジルの土地利用について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。国土面積に占める土地利用の割合を示した統計において、約六割という大きな割合を占めている項目に着目して答えなさい。

- ○ 肉牛の放牧が盛んであるため、牧場・牧草地の割合が国土の約六割に達している。
- ○ 乾燥した気候の影響により、砂漠や岩石地などのその他の土地が国土の約六割を占めている。
- ○ 大豆やさとうきびを生産するための農地が、森林の割合を上回って国土の過半数を占めている。
- ○ アマゾン川流域などの熱帯林を中心とした森林の割合が、国土の約六割と非常に高い。

問5　日本の刑事裁判において、裁判を迅速かつ効率的に進めるため、第一回の公判（裁判）が始まる前に、裁判官・検察官・弁護人の三者が集まって争点や証拠をあらかじめ整理する仕組みを何といいますか。

- ○ 司法制度改革審議会
- ○ 検察審査会
- ○ 公判前整理手続
- ○ 裁判員制度

問6　日本の選挙における有権者の動向について、各年代の人口比率や投票率の統計傾向に基づいた記述として正しいものはどれですか。

- ○ 少子化対策として、若者の投票率の低さを補うために、現在は一人の若者が複数の票を投じることができる「複数投票制」が導入されている。
- ○ 現在の日本では、有権者に占める高齢者の割合が低下し続けているため、若者の投票率が低いことは政治的な決定に影響を与えない。
- ○ 十代や二十代の年代別投票率は全体の平均を下回っており、少子化による人口の少なさと相まって、若年層の政治的影響力が低くなる要因となっている。
- ○ 選挙権年齢の引き下げが行われた結果、十代の投票率は六十代や七十代の投票率を大きく上回るようになり、若者の意見が反映されやすい環境が完成した。

山梨県 公立高入試 社会 セット10 前半

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 沿岸から200海里（約370km）までの範囲に設定される「排他的経済水域」について、沿岸国に認められている権利の内容として正しいものはどれですか。

- ○ 公海と同様に、どの国の船舶であっても自由に軍事演習などを行える権利
- ○ 領海と同様に、その水域の上空を自国の領空として支配する権利
- ○ 他国の船舶の航行をすべて禁止し、自国の法律のみを適用する権利
- ● 魚介類などの水産資源や、海底の鉱物資源を独占的に利用する権利

問2 発展途上国の都市部において、急激な人口集中によって生じる居住環境の課題について述べた文として、正しいものはどれですか。

- ○ 都市化が進む一方で、伝統的な生活様式を維持するために、すべての住民が定住を拒否して移動式テントで生活している。
- ○ 急速な工業化によって都市の労働力が不足したため、伝統的な住居を解体して高層住宅に建て替えることが法律で禁じられている。
- ○ 都市への人口集中を解消するため、政府が遊牧などの伝統的な移動生活に戻るよう国民に義務付けている。
- ● 十分な所得や住居を確保できない人々が、都市周辺にスラムと呼ばれる生活環境の劣悪な地域を形成することがある。

問3 現代社会において、物事を決める際に「手続きの公正さ」が重視される理由として、最も適切な説明はどれですか。

- ○ 時間をかけずに素早く物事を決定することで、社会的な無駄を省くことができるから
- ○ 最終的に全員が全く同じ利益を得られるように結果を調整することが可能になるから
- ● 決定の過程に参加することで、自分の意見が反映される機会が保障され、納得感が高まるから
- ○ 専門的な知識を持つ特定の人々だけで判断したほうが、客観的に正しい結論が出るから

問4 広大な国土を持つブラジルの土地利用について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。国土面積に占める土地利用の割合を示した統計において、約六割という大きな割合を占めている項目に着目して答えなさい。

- ○ 肉牛の放牧が盛んであるため、牧場・牧草地の割合が国土の約六割に達している。
- ○ 乾燥した気候の影響により、砂漠や岩石地などのその他の土地が国土の約六割を占めている。
- ○ 大豆やさとうきびを生産するための農地が、森林の割合を上回って国土の過半数を占めている。
- ● アマゾン川流域などの熱帯林を中心とした森林の割合が、国土の約六割と非常に高い。

問5 日本の刑事裁判において、裁判を迅速かつ効率的に進めるため、第一回の公判（裁判）が始まる前に、裁判官・検察官・弁護人の三者が集まって争点や証拠をあらかじめ整理する仕組みを何といいますか。

- ○ 司法制度改革審議会
- ○ 検察審査会
- ● 公判前整理手続
- ○ 裁判員制度

問6 日本の選挙における有権者の動向について、各年代の人口比率や投票率の統計傾向に基づいた記述として正しいものはどれですか。

- ○ 少子化対策として、若者の投票率の低さを補うために、現在は一人の若者が複数の票を投じることができる「複数投票制」が導入されている。
- ○ 現在の日本では、有権者に占める高齢者の割合が低下し続けているため、若者の投票率が低いことは政治的な決定に影響を与えない。
- ● 十代や二十代の年代別投票率は全体の平均を下回っており、少子化による人口の少なさと相まって、若年層の政治的影響力が低くなる要因となっている。
- ○ 選挙権年齢の引き下げが行われた結果、十代の投票率は六十代や七十代の投票率を大きく上回るようになり、若者の意見が反映されやすい環境が完成した。